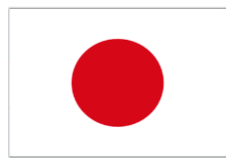


# アイルランドの製薬業界の紹介



Ireland. We make it happen.

# アイルランドの概要



- 面積：7万300平方メートル（北海道とほぼ同じ）
- 人口：約504万人（2021年8月アイルランド中央統計局推定）約550万人(2040予測)
- 言語：英語及びアイルランド語（ゲール語），首都：ダブリン
- 通貨：ユーロ通貨
- 名目GDP：US\$498.89 B (2021) \*
- 一人当たりのGDP：US\$ 99,013.38 (2021) 世界2位\*
- 実質GDP成長率：5.20% (2022見通し)\*
- 1973年以来のEU加盟国
- 経済重視の安定した政策
- 35歳以下が人口の約50%を占める若い人口構成（国民平均年齢36.2歳）
- 欧州で首位の出生率 — 合計特殊出生率1.98人（1人の女性が産む子供の数）\*\*
- 人口の約 17% は外国籍
- 教育：全レベルで授業料免除、EUの中で大学卒業率が一番

\*IMF - World Economic Outlook Databases April 2022

\*\* World Population Review October 2019/10

# 外国直接投資誘致の実績

世界のICT企業

上位10社のうち9社



世界のオートメーション企業

上位10社のうち7社



世界の製薬企業

上位10社すべて



世界のインターネット企業

上位10社すべて



世界の金融関の

50%



世界の医療機器企業

上位15社のうち14社



twitter

Google



facebook

Lilly

PayPal

genzyme

SAP

Allianz

ERICSSON

Valeo

Takeda

zynga

# アイルランドの製薬業界：世界上位10社製造拠点

## 生産地の地図



### イーライリリー



- ・設立：1978年
- ・従業員：1,300人
- ・2ヶ所
- ・生産地：コーク (API/ バイオ)
- ・シェアードサービス：600人 (38ヶ国/ 35言語)

### サノフィ



- ・従業員：800人
- ・2ヶ所
- ・生産地：ウォータフォード
- ・シェアードサービス：ダブリン (60人)

### アッヴィ



- ・5ヶ所
- ・生産地：スライゴ 2ヶ所 (API・製剤) (無菌充填) / コーク (製剤)
- ・シェアードサービス：ダブリン (2ヶ所)

### ロシュ



- ・従業員：50人
- ・1ヶ所
- ・シェアードサービス：ダブリン (50人)

### ノバルティス



- ・従業員：1,200人
- ・2ヶ所
- ・生産地：コーク (API)
- ・シェアードサービス：ダブリン (500人) (38ヶ国・29言語)。業務はグローバル販売向け多言語メディアカルライティング等

### グラクソ・スミスクライン



- ・従業員：1940年代
- ・2ヶ所
- ・生産地：ウォータフォード (パナドール/ 呼吸器、HIV、腫瘍学など)
- ・シェアードサービス：ダブリン

### アストラゼネカ



- ・従業員：50人
- ・シェアードサービス：ダブリン

### ファイザー



- ・設立：1969年
- ・従業員：5,000人
- ・6ヶ所
- ・生産地：コーク x 2 (API) / キルデア (中枢神経系・ホルモン療法・経口避妊薬) / ダブリン (生物活性成分)
- ・シェアードサービス：ダブリン (2ヶ所)

### メルク



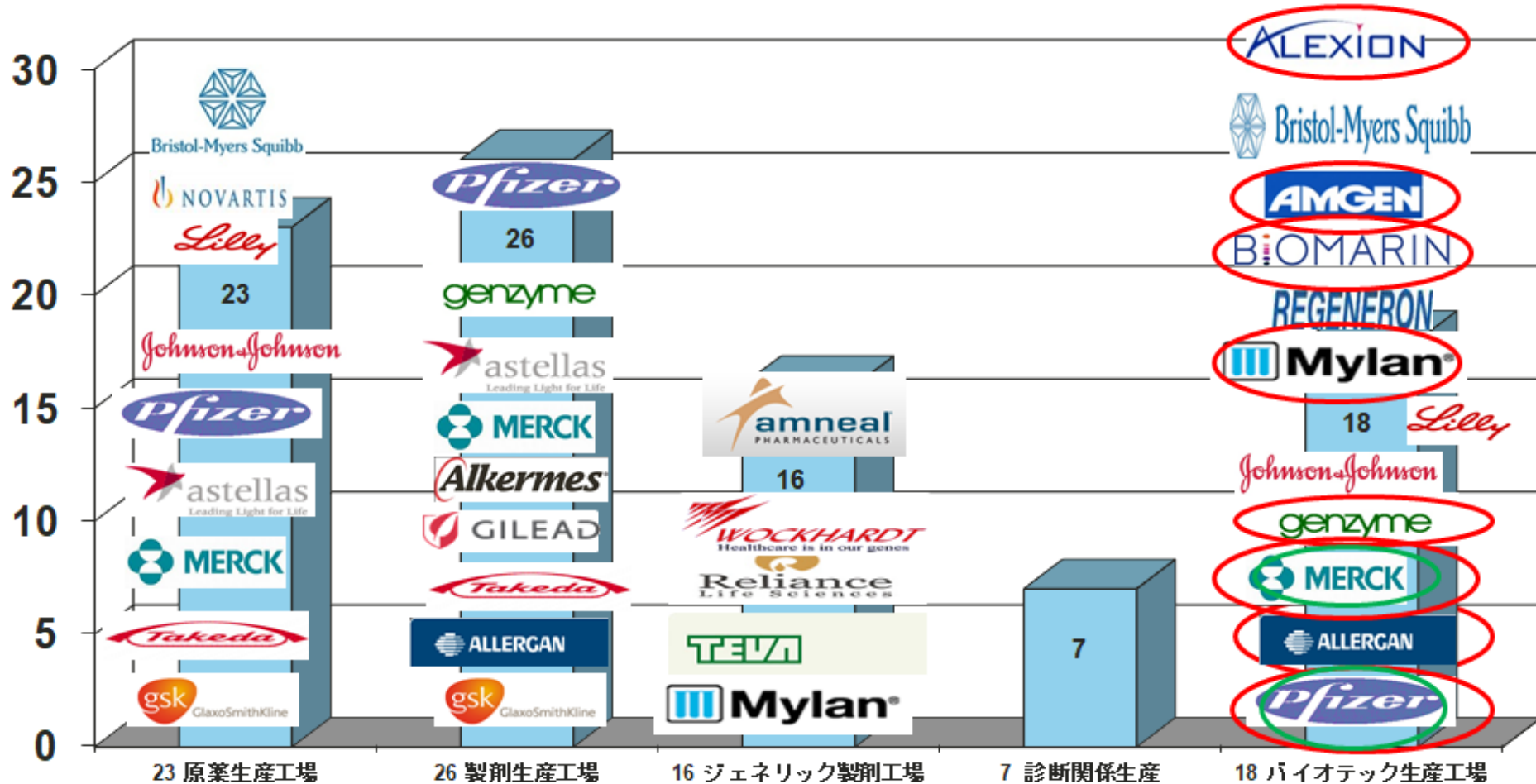
- ・従業員：1,800人
- ・6ヶ所
- ・生産地：ティペラリー (API・製剤) / ウィックロー (API) / ダブリン (製剤) / コーク (バイオ) / カーロー (ワクチン・バイオ)
- ・シェアードサービス：ダブリン (2ヶ所)

### ジョンソン・エンド・ジョンソン



- ・4ヶ所
- ・生産地：コーク (API)
- ・シェアードサービス：コーク (3ヶ所) / ダブリン

# 製薬業界の分類



製薬工場数 = 90施設








無菌充填施設

ワクチン










# 最新の市場動向

1. バイオフィーマ増加
2. スペシャライズド・ファーマ生産の増加
3. グローバルコマースオペレーション増加
4. 次世代治療・遺伝子細胞療法

# バイオフार्マ増加：10年間の\$120億投資の実績

	2022年12月	€1.2 billion	X00人雇用	ファイザー社はグレンジキャッスルの施設に <u>12億ユーロ超を投資</u> 。これにより、敷地内に新しい施設が建設され、 <u>生物学的原薬の製造能力が倍増し、同施設で数百人の新規雇用</u> が創出される予定です。
	2022年10月	N/A	200人雇用	<u>血漿由来医薬品のグローバルリーダー</u> であるグリフォルス社は、ダブリンのグレンジキャッスルにある同社のグローバル製造・供給拠点に、 <u>アルブミン精製・充填プラント</u> を新たに開設しました。この新工場は、ダブリンにある同社最先端施設に <u>17,000平方メートル以上のスペースを追加</u> するものです。 <u>今回の拡張により、グリフォルスは2012年にアイルランドに進出して以来、アイルランド事業への投資額は3億ユーロを超えることとなります。</u>
	2022年09月	€52m €15m	N/A	イプセン社は <u>5200万ユーロを投じて、ダブリンにおける製造能力を向上・拡大し</u> 、ニッチながんや希少疾患に苦しむ患者の助けとなる必要不可欠な医薬品の生産拡大・加速化を支援します。また、同社は、 <u>2023年から2026年にかけて1500万ユーロの追加設備投資</u> を計画しており、 <u>技術と持続可能性</u> の観点から工場の継続的な強化を図ります。
	2022年09月	€65m	70人雇用	アッヴィ社は、コークにある同社製造拠点に <u>6000万ユーロを投資し、最新鋭の新施設を開発し、約70人の新規雇用</u> を創出すると発表しました。また、アッヴィは、アイルランド政府産業開発を通じて政府の支援を受け、同施設において <u>3年間の戦略的トレーニングプログラム</u> に着手、今後導入される新技術に対応する主要従業員のスキルを強化・開発する予定です。
	2022年08月	N/A	350人雇用	ホライズン社は、 <u>2021年に6500万ドルで買収した既存の充填および最終製剤工場に原薬施設を追加し</u> 、350人の雇用を創出する予定です。2023年より、この施設から希少疾病用医薬品の発売を開始したいとしています。
	2022年08月	N/A	100人雇用	MSDは、 <u>次世代の抗がん生物製剤の製造に特化した世界初の最新鋭施設の設定と約100人の新規雇用創出</u> を発表しました。また、MSDは <u>同施設の二酸化炭素排出量を大幅に削減する目的で7.3MWの地上設置型太陽光発電設備を建設</u> しました。この設備は、MSDの敷地内で年間約7.9GWhのクリーンで再生可能な電力を発電する予定です。つまり今後必要なエネルギーの約20%を再生可能エネルギーでまかなう予定です。このほかに、 <u>20年12月、MSDは新たに買収したダンボイン・バイオリジックス・キャンパス内に新たな製造施設を建設と240名の新規雇用を発表、さらに、19年7月には13,000平方mのワクチン・生物製剤の生産施設を建設を発表</u> しています。
	2022年6月	€65m	N/A	アストラゼネカ社傘下で希少疾患治療薬を開発・提供するアレクシオン社は、3つの拠点において、新機能追加および機能強化のために <u>6500万ユーロを投資すると発表</u> しました。これには、2つの拠点における新しい原薬製造装置の設置と、生物製剤原薬製造のスケールアップを可能にする製造科学技術研究所の新設が含まれています。

# バイオフィーマ増加：10年間の\$120億投資の実績

	2022年03月	€150m	180人雇用	癌、免疫学関係のバイオキャンパスの拡大。
	2022年01月	\$400m	300人雇用	イーライリリー社は、リムリックにあるバイオ原薬の最新製造施設に4億ユーロ以上を投資、有望なアルツハイマー病治療薬を含め同社の既存製品の需要増をサポートし、300人の雇用を創出すると発表しました。2021年7月26日- イーライリリーは、アイルランドで唯一最大のソーラーファームを開設しました。このソーラーファームでは最大5.6MWの電力を生産する予定で、これによりリリー社はCO2排出量の多い電力使用量を年間約6GW、二酸化炭素排出量を2,350トン削減することができます。リリー社では、すでに熱電併給設備（CHP）を導入しており、敷地内の電力の約45%を効率的に生産しています。今回の太陽光発電所での発電量を加えることで、必要な電力量は太陽光発電のピーク時には約65%削減されます。
	2021年12月	\$100m	N/A	アムジェン社はダブリン郊外ダンレアリーにある同社製造工場に、最先端技術を導入した新しいバイアル充填ラインの建設と新しい敷地内インフラ整備のために1億ドルを投資することを発表しました。
	2021年5月	€32.8m	75人雇用	グランジキャッスル施設でCovid-19ワクチン原薬を製造すると発表。以前に、20年11月に3,000万ユーロの設備投資を3ヶ所発表し、300人を雇用する予定。
	2021年2月	€36.4m	100人雇用	アイルランドの幹細胞治療生産施設を拡張する為、3,640万ユーロの投資と100名の雇用を創出すると発表
	2020年8月	N/A	400人雇用	インダストリアル事業・製品供給（IOPS）キャンパスに400人以上の雇用を発表。
	2020年7月	€7 m	140人雇用	ダブリンに小児科のセンターオブエクセレンスを設立し、臨床開発・サプライチェーン・財務・人事・法務などの職種を新規雇用。
	2020年1月	€160 m	63人雇用	メイヨー州のキャンパスに生物学的製剤の第二工場を開設。最新式の微生物学および細胞研究所があり、創薬、開発、製造の進歩を支える研究開発能力が特徴。以前に19年4月に生物製剤製造施設と最先端の微生物学・細胞ベースの研究開発施設から構成される新施設を設置。
	2019年11月	N/A	200人雇用	世界市場向けに商用製品を供給する施設を備えたダンドークに200人の増員を行うと発表。



# スペシャライズド・ファーマ

abbvie

AbbVieは、癌領域のパイプラインの成長をサポートするために、スライゴ州の製造施設の拡張と発表。



Aerie Pharmaceuticals, Inc.は、IDAのアスローン州にあるATB（Advanced Technology Building – 先端技術ビルディング）に新生産工場を設立と発表。Aerie社は無菌充填・品質・エンジニアリング・サポート機能などに€2500万を投資をし、50人の雇用をする予定。

OPKO

OPKO Health Inc.は、ウォーターフォード州の施設を拡張し、ガラス・バイアルの無菌充填の新規製品開発センターを開設することにより、今後5年間で200人を雇用する予定と発表。



IDA ATB, Athlone

Nexvet<sup>™</sup>  
Transforming animal medicine

Nexvet Biopharmaは、オフリー州に動物薬の開発および製造施設を正式に開設した。



IDA ATB, Sligo



IDA ATB, Waterford



IDA ATB, Castlebar

# グローバル コマーシャル オペレーション センター

## 国際サプライチェーンマネジメント・物流

戦略的グローバルソーシング  
グ・調達

- CMO評価、選定、  
認証および管理
- 価格と流通計画



物流・サプライ

- 受注処理戦略
- 需要計画
- 基本購入契約



サプライチェーンのパフォーマンス  
析/以下を含むサプライチェーンの最適化:

- ルーティング、スケジューリング、  
立地分析、容量計画
- サプライヤー/チャネル/製品  
アナリティクス
- 定量在庫管理技術



品質保証・管理  
アウトソーシング管理・監督

## グローバル規制、検査 & 発売

グローバル・国際規制関連業務  
規制戦略

製品申請 & 完全開示データ付き登録

臨床および規制コンプライアンス  
規制関連業務 (規制当局とのミーティング、  
年次報告書の提出)

製品研究所、試験および発売  
ラベリングエクセレンス

品質保証  
品質管理

CMO契約、アウトソーシング監督

製品ライフサイクル管理

ファーマコビジランス (安全対策、  
副作用調査)

Global T & R



Non EU T & R



# デジタル・トランスフォーメーション

アイルランドでは、**製造イノベーション、ファーマコビジランス、デジタルコンテンツ**を中心に、多くのデジタルトランスフォーメーションが見られます。

アイルランドにある**ノバルティス社のグローバルサービスセンター（NGSC）**は、同社の**世界有数のデジタルサイエンスセンター**で、**ダブリンの拠点では1000人以上の従業員が在籍しています**。NGSCの一部である**グローバル医薬品開発部門は、80人以上の臨床科学者と20人のデータサイエンス/人工知能の専門家を擁し、ノバルティスのグローバルな臨床試験活動を監督しています**。

同社の**クリエイティブおよびデジタルチームは、医療コンテンツをデジタルフォーマットに変換し、世界中の医師とつながり、サポートするためのツールを使って、同社の医療担当者や営業担当者をサポートしています**。ダブリンは現在、**ノバルティスのデジタルサイエンスの中心地**となっています。

**武田薬品工業は、最高クラスのデジタル技術を導入し、ペーパーレスの自動化、ロボット工学、拡張現実などの最新技術を活用した設備を保証しています**。さらに、**データへのリアルタイムアクセスやビッグデータ解析は、すべての工程で品質と信頼性を守り、継続的な改善のための基盤**となっています。

**2020年、コークにあるヤンセンの施設は、世界経済フォーラムから世界の先進的な工場として「グローバル・ライトハウス」に選定され、第4次産業革命技術の導入をリードする世界最先端のメーカーの一つとして認められました**

NIBRT BioPharma Alliance (Industry 4.0)



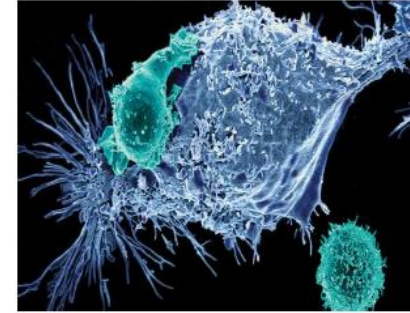
**Dublin is now a 'leading digital science centre' for pharma giant Novartis**



# 次世代の動向



eurofins  
 PPD  
 charles river  
 IQVIA  
 parexel  
 ICON



Small molecule/API  
Manufacturing

Large molecule biologics  
manufacturing

CROs and laboratory  
expertise

Cell & gene therapy  
manufacturing & research

国際企業	国内企業		研究開発・訓練機関	

# 細胞医療-国際企業

国際企業	国内企業	研究開発・訓練機関
		

2021年2月 - 武田薬品工業は、アイルランドの幹細胞治療生産施設の拡張する為、3,640万ユーロの投資と100名の雇用をすると発表。

2021年4月 - PPD 180人雇用 GMPラボを拡張し、施設規模を拡大するとともに、細胞および遺伝子治療試験を事業のサービスポートフォリオに追加。

2020年5月 - MeiraGTx社はシャノン施設を拡張、既存のプラスミド製造施設に加え、ウイルスベクター製造施設を増設しました。

2019年3月 - Legend Biotechは、現在の研究開発・事業活動と並行して、ダブリンにヨーロッパ本社を開設。

# 国立バイオプロセッシング訓練研究所 (NIBRT)



- 国立バイオプロセッシング訓練研究所 (NIBRT: National Institute for Bioprocessing Research and Training) は、DCU (ダブリンシティ大学)、IT Sligo (スライゴ工科大学)、TCD (ダブリン大学トリニティカレッジ)、UCD (アイルランド国立大学ダブリン校) の4 学術機関との革新的提携のもと、設立された民間研究所です。
- NIBRT はアイルランド産業開発庁が助成 (5700万ユーロ)、次のミッションを掲げます。
  - バイオプロセス業界の主要産業分野で世界に誇る研究に従事する。
  - バイオプロセス業界のために高度な技能を持つ人材をトレーニングする。
  - 柔軟性に富む、多目的バイオプロセス研究・訓練施設を提供する。
- 床面積 6,500m<sup>2</sup> のNIBRT ビルには下記施設が含まれます。
  - パイロット規模の研究訓練施設 (10L、30L、150L のバイオリアクター・トレイン)
  - ベンチスケールの上流・下流バイオプロセス・トレーニング・ラボ
  - バイオ分析ラボ
  - NIBRTの PI (研究責任者) 用研究ラボ

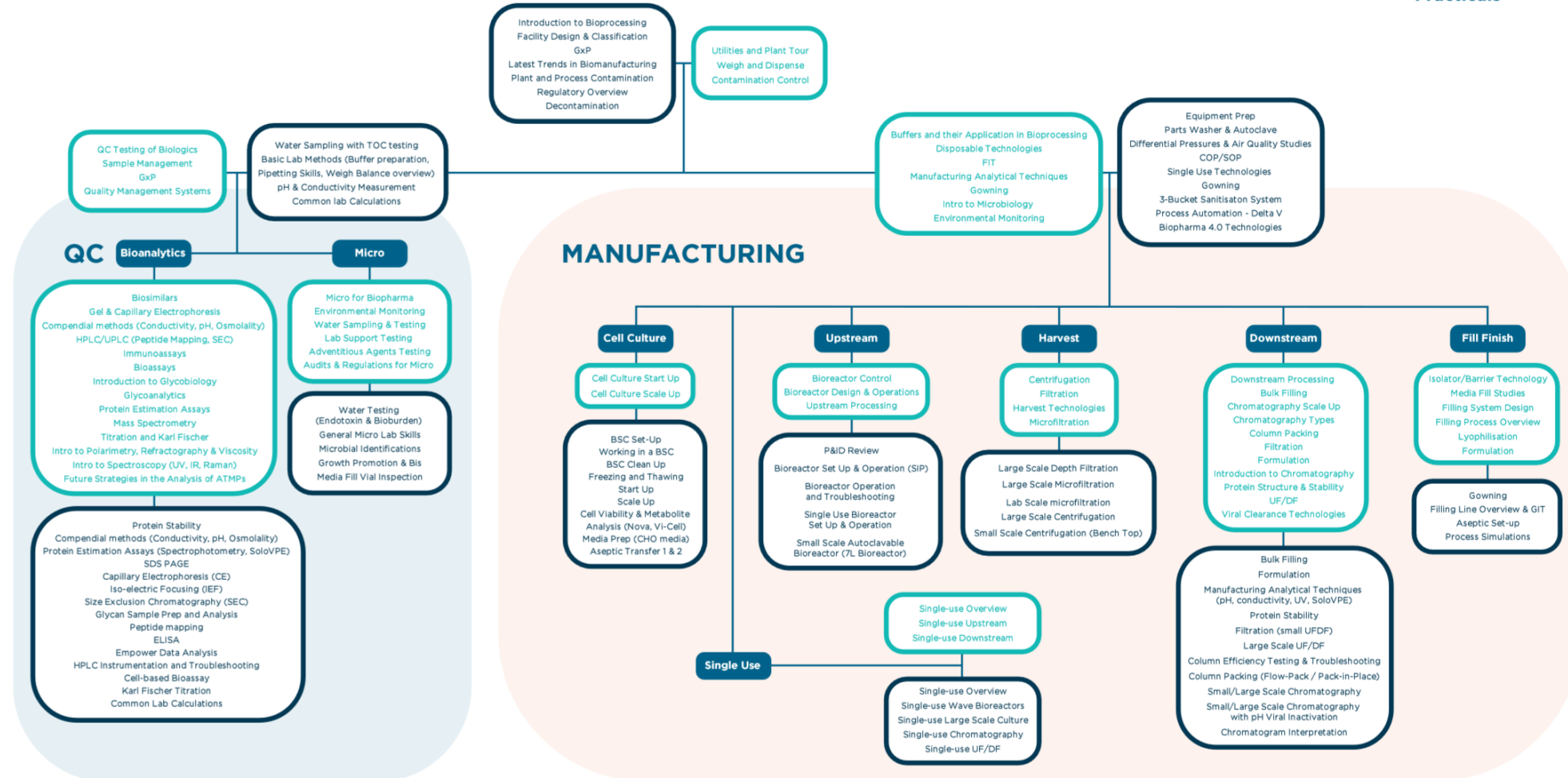


- NIBRTは今後5年間で2,100万ユーロの資本注入を受け、細胞・遺伝子治療の実験・研修用に1,600m<sup>2</sup>の施設拡張を行う予定です。すでに、このスペースで多くのトレーニングコースが開発、実施されています。

# NIBRT カリキュラム

## GENERAL CURRICULUM

— Lectures  
— Practicals



# Industry 4.0@NIBRT

## Boston Consulting Group (BCG) and NIBRT

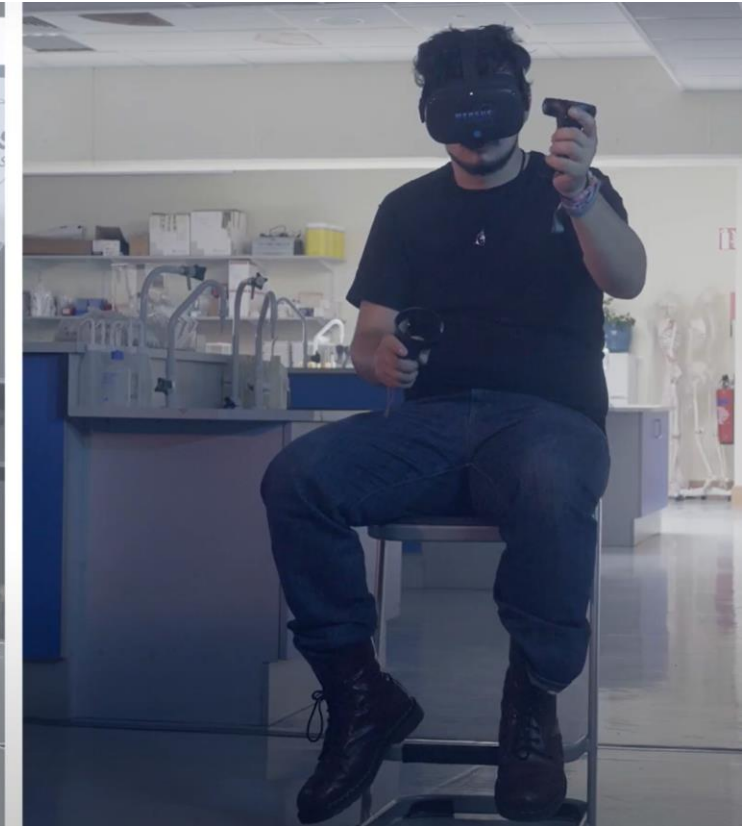
BCG and NIBRT have opened the world's first Innovation Centre, dedicated to Biopharma Operations. The Innovation Centre is fully dedicated to Biopharma Operations.

The Innovation Centre showcases the latest Industry 4.0 (I4.0) technologies in Biopharma manufacturing, quality control and training excellence. These technologies are integrated with core operating processes to enable proof-of-concept use cases on new innovations and new ways of working, situated in a Good Manufacturing Practice (GMP) simulated environment.

The implementation of these technologies in the biopharma industry could lead to productivity improvements of up to 40% especially when combined with Lean methodologies. Whilst Europe has typically been a leader in biopharma innovation, the industry as a whole is behind other industries and the adoption of next generation technologies is key to maintaining this advantage.

The Innovation Centre allows visitors and alliance members to discover I4.0 technology demonstrated in a GMP environment, be inspired by Biopharma manufacturing specific use cases and also allows companies to co-create or pilot digital solutions to their specific challenges in a safe GMP pilot environment.

**MERSUS**  
TECHNOLOGIES



<https://www.nibrt.ie/training-and-education/biopharma-4-0-alliance/>



# アイルランドの医療機器業界



**300**社

外国資本・アイルランド  
資本合わせ国内に300  
社（半数が外資）



**45,515**人

アイルランド国内で  
医療機器産業に従事  
する就業人数



**€127億**

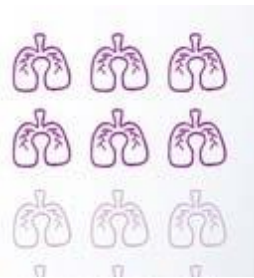
アイルランドからの  
医療機器の年間輸出  
額 127億ユーロ

**欧州で  
第2位**

アイルランドからの  
医療機器の輸出はド  
イツに次いで第2位



アイルランドはコンタク  
トレンズのEUおよび世  
界第1位の輸出国です。



アイルランドはステント  
のEUおよび世界第1位の  
輸出国です。



アイルランドは  
人工関節の世界第3  
位の輸出国です。



アイルランドは、患者用  
診断試薬の世界第4位の  
輸出国です。










アイルランドに進出して  
いるグローバル医療機器  
企業の75%が研究開発  
を行っています。

# アイルランドの医療技術産業



	<b>インターベンション関連</b> Abbott Vascular/ Boston Scientific/ Clearstream Tech. (CR Bard)/ Cook Ireland/ Creagh Medical (SurModics)/ CRI Matrix/ Delcath Systems Inc/ Goodman Medical/ Integra Lifesciences/ Lake Region (Greatbatch)/ Mainstay Medical*/ Medtronic/ Merit Medical/ Phenox/ Renishaw/ Stryker)
	<b>整形外科</b> APS Materials/ Bio-Medical Research*/ J&J DePuySynthes/ Prim SA/ Stryker Instruments/ Stryker Orthopaedics x2/ Vascular Solutions/ Wright Medical/ Zimmer Biomet x2
	<b>診断</b> Abbott/ Aerogen*/ BD GenCell/ Beckman Coulter (Danaher) / Crospon Ltd.* DiaSorin/ GE/ Integra Lifesciences/ KCI (An Acclity Co)/ Natus/ Pharddiag/ Renew Health/ Resmed/ Siemens Medical/ Toag Ireland Ltd./ Waters
	<b>病院・在宅医療向け製品</b> Abbott/ B Braun Hospicare/ Baxter Healthcare/ Becton Dickinson x3/ Fazzi Hollister/ Hospira/Medtronic/ Merit Medical/ Oral B/ Owens & Minor/ Young Innovations (Microbrush)
	<b>眼科</b> Athlone Optical (Essilor)/ BioTech Vision/ Essilor/ J&J Vistakon/ Novartis (Alcon)/ Rupp & Hubrach (Essilor)/ Transitions Optical (Essilor)/ Valeant (Bausch + Lomb)
	<b>薬物送達・コンビネーション製品</b> Abbvie/ Aerogen/ Becton Dickinson/ Celestica/ Flex/ Molex/ Nypro Ireland/ Sanmina SCI/ West Pharma
	<b>シェアードサービス・コネクテッドヘルス</b> Abbott Medical Optics/ Abbott SSC/ Alere/ Allergan/ Baxter SSC/ Cook Ireland/ Delcath Systems Inc./ Hill-Rom/ Integra SSC/ J&J DePuySynthes/ McKesson/ Medtronic/ Resmed/ RelateCare/ Teleflex/ Tunstall
	<b>ソリューションプロバイダー/受託サービス</b> Amcor Flexibles/ Chesapeake/ Creganna/ CRI Medical Devices/ Endura Coatings/ Fort Wayne Metals/ Harmac/ Imstec/ ITW Filtertek/ Kelpac Medical/ Lake Region (Intefer)/ Listal/ Merck Millipore/ Nelipak/ Phillips Medsize/ Symmetry/ Steripack*/ Synergy Health/ Teleflex/ Tool & Plastic*/ Vention Medical/ Zeltiq/ Zeus

# 最近発表された主要投資案件

	2022年11月	シーメンスヘルシニアーズ社は、免疫測定機器の新しいセンター・オブ・エクセレンスを立ち上げ、感染症、癌、血液疾患の発見に使用される検査機器における画期的なイノベーションの創出に取り組みます。また、数百万ユーロの投資と、世界50カ国以上に輸出されている血液学および免疫学分析装置を製造する既存拠点での100人の新規雇用も発表しました。
	2022年10月	GEヘルスケア社は、同社コーク施設に、3,050万ユーロの製造ラインを開設しました。140人の雇用（現在765人）を創出したこの新ラインでは、世界中のX線検査やCT検査に使用される造影剤を製造します。慢性疾患の世界的な広がりにより、CT検査が大幅に増加し、疾患経路における臓器、血管、組織の可視化を強化するために使用されるヨウ素系造影剤の需要が増加しています。
	2022年10月	ウォーターズコーポレーションは、ウェックスフォードの事業を拡大するために最大600万ユーロを投資し、新しい臨床診断製品の研究開発にも投資することを発表しました。同社のウェックスフォードの施設は、体外診断（IVD）システム、試薬キット、ソフトウェアのポートフォリオを製造、提供する同社の主要拠点となっています。
  	2022年9月	<p>ジョンソン・エンド・ジョンソン社は同社の世界最大級のコンタクトレンズ製造拠点に1億ユーロを投じて、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンケアのACUVUE®乱視用製品群の成長に対応するとともに、将来の新製品導入パイプラインの実現を目指します。</p> <p>2022年3月、J&amp;Jビジョンは、リムリックにある施設に3500万ユーロを投資して眼内レンズの生産を開始し、今後3年間で最大200人の新規雇用を創出すると発表しました。</p> <p>この他に22年2月、神経血管分野のCERENOVUS社、5,000万ユーロの投資を発表、30人を増員。</p>
	2022年8月	アボット・ラボラトリーズ社は、アイルランドにある2つの施設に4億4000万ユーロを投資し、持続血糖測定器のFreeStyle リブレの生産を拡大し、両施設で1000人を増員する予定です。
	2022年8月	ストライカー社は、将来的に技術職を600人を雇用し、3Dプリント技術におけるリーダーシップをさらに高めることになるハイテク施設を正式にオープンしました。同社は、膝、腰、肩、足首、頭蓋顎顔面、脊椎などの骨関連疾患の治療用製品を製造しています。アイルランドの施設は、ストライカー社のアディティブ・マニュファクチャリングの中核となるAMagine Instituteのグローバル拠点にもなっています。

# サステナビリティ（持続可能性）

- + サステナビリティはアイルランド政府産業開発庁の戦略の重要な柱であり、グリーンエコノミーの取り組みや機会について多国籍企業とパートナーシップを組んでいます。
- + アイルランドで事業を展開する企業は、サステナビリティに関する様々なサポートを利用することができます。

800KWの風力タービン発電ステーションと1.8MWの木質チップボイラーシステムが工場の電力供給を助け、工場の二酸化炭素排出量を年間3000トン以上削減すると期待されています

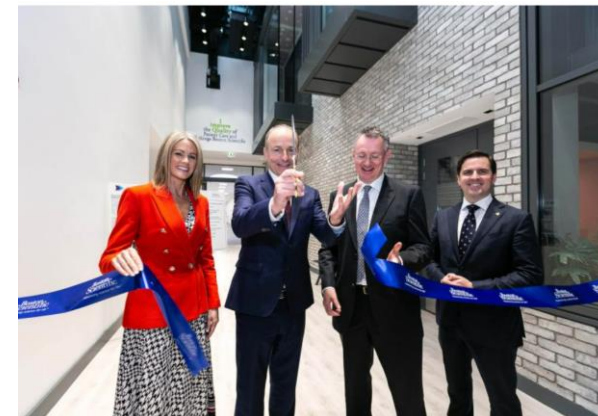


アステラス製薬、ケリー工場



2022年4月、ボストン・サイエンティフィック社は、再生可能エネルギーを利用した約3700平方メートルの医療機器製造スペースを含む、1億ユーロの新たな拡張工事を発表しました。

拡張工事後には、2030年までにすべての製造拠点と主要な物流拠点でカーボンニュートラルを達成するという同社の目標に沿ったカーボンニュートラルな製造スペースが誕生します。



# なぜアイルランド？

## 言語

- ユーロ圏内で唯一の英語圏
- 人口1割以上は家庭内言語が英語以外を使用

## 税金

- 法人税 12.5 %
- 租税条約締結国 73カ国以上

## 人材

- 人口の5割以上は35歳以下
- EUの中で大学進学率が一番
- 労働基準法は企業寄り
- 熟練した従業員が豊富
- 離職率が低い

## インセンティブ

- 地方補助金・助成金
- 研究開発助成金 (15%)
- 研究開発税額控除(25%)
- 訓練 (50%まで)
- “KDB”新パテントボックス税制 6.25%法人税

## ロケーション

- 潜在的顧客が5億人のマーケット
- EMEAやグローバル活動拠点として最適な所在地
- 地理的にEU圏労働力を確保できる

## 教育

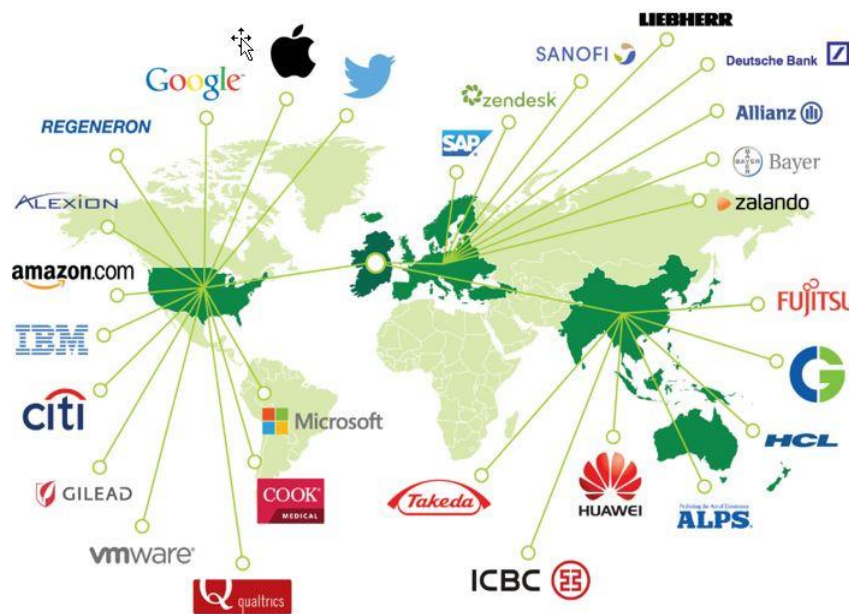
- EU圏内で教育水準と学力が最も高い国のひとつ
- ビジネスに特化した教育コースが充実

## 実績

- 外資系企業が1700社以上が進出
- 進出会社の成長率・満足度が高い
- 事業の多角化で企業成長
- 企業効率と生産性が世界第一位

## 政府のサポート体制

- 外国人労働者の受け入れやすさ
- 政府当局の柔軟な動き
- 長期的に産業に対して有利な体制 (税金など)
- 長期的に保証された税制



**ビジネスに理想的な国 世界一に選ばれました**  
(Forbes経済紙より)

# 資金面での優遇制度

- + **12.5%の法人税率** ①
- + 日本を含む73カ国との二重課税防止条約
- + 雇用に対する補助金：**1年間報酬の20%**を支給（立地先に応じる）
- + トレーニングに対する補助金：**費用の50%**を支給
- + **25%の研究開発税額控除** ②
- + **研究開発補助金** ③
  - 対象経費の**最大25%**、対象経費にはプロジェクト全期間（1～3年）にわたる建物、設備、人件費、研修費、間接費 その他の雑品目が含まれる

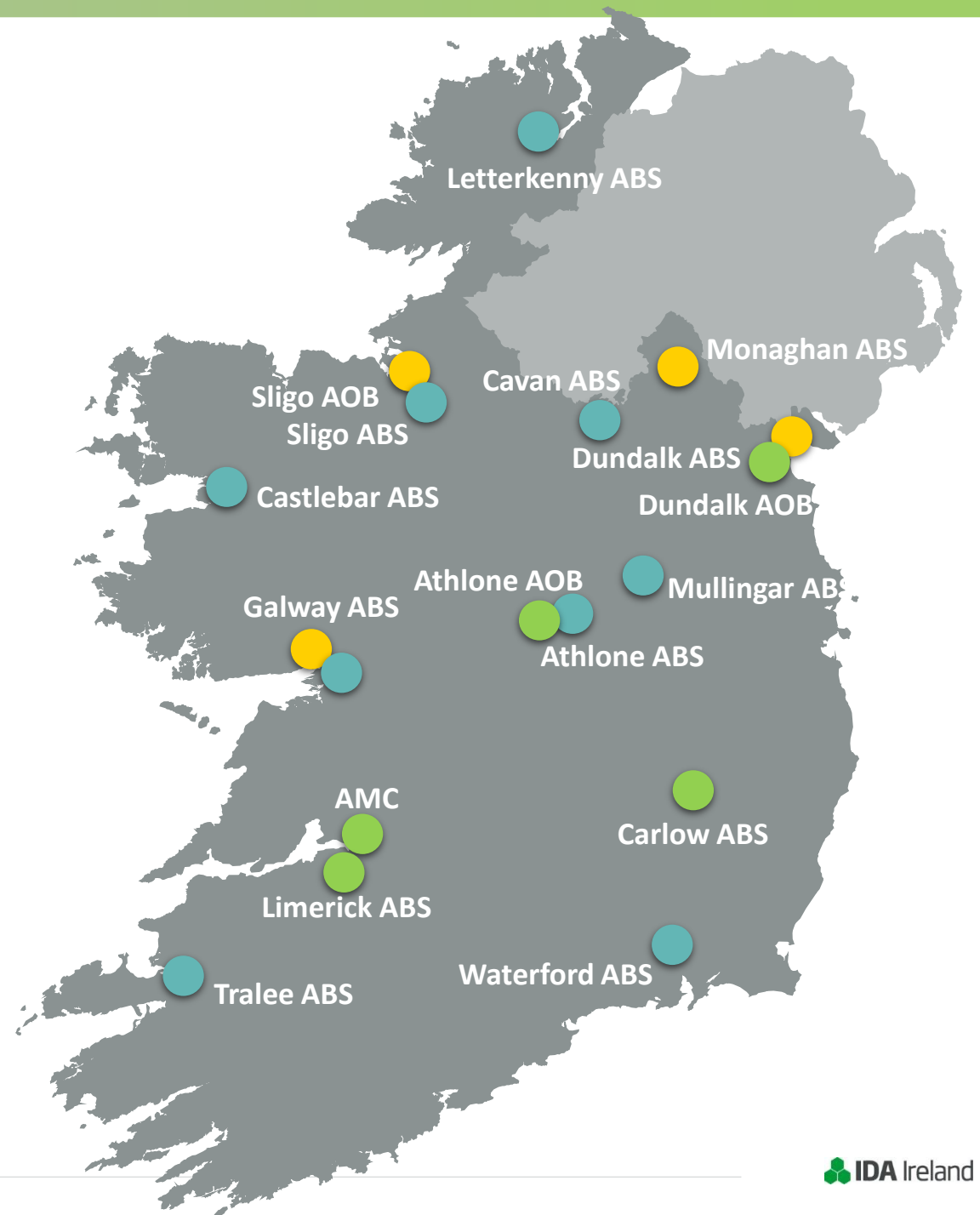
HOW IT WORKS:			
Company Perspective	€	Irish Support	€
R&D spend	100.00		
③ Grant Aid (10%)	(10.00)	① 90 @ 12.5% =	11.25
Net of grant cost	90.00	② 90 @ 25% =	22.50
Tax saving	-33.75	Total tax saving	33.75
Total net cost	56.25	Plus grant aid	10.00
		Total support	43.75

- + **6.25%の法人税率がアイルランドで開発取得されたIPに適用** - 世界初のOECD準拠の  
 パテントボックス税制 Knowledge Development Box制度(2016年1月より導入)
- + イノベーションパートナープログラム
- + EU FP8・H2020のフルームワークへのアクセス

# 迅速な工場稼動に向けて



# 迅速な工場稼動に向けて





# アイルランド・日本間の投資関係

過去50年間にわたり、ICT、製薬、製造、金融サービスなど、様々な業種の日本企業がアイルランドに進出しています。



三井住友銀行



Mitsubishi UFJ Trust and Banking



三菱UFJリース

Panasonic  
AVIONICS

FPG  
Financial Products Group



TC-Lease



日本総研  
The Japan Research Institute, Limited

NRI



三井住友信託銀行  
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK



FUYO LEASE  
FUYO GENERAL LEASE CO.,LTD.



astellas  
Leading Light for Life



Mitsubishi Corporation  
in the side of your life.

Marubeni



New way. New value



GOODMAN Co.,Ltd.  
No one can keep a goodman down



Otsuka Otsuka Medical Devices Co., Ltd.

ALPSALPINE  
Perfecting the Art of Electronics



TEL

RICOH  
imagine. change.

Rakuten kobo



Fujikin

SMIK

Lasertec

NTT



TREND  
MICRO

SoftBank

BBB  
NERIKI

THK

SCREEN

FUJITSU

RECRUIT



toyoko-inn.com  
東横INN

# 連絡先

IDA Ireland  
Ireland House 2F  
2-10-7 Kojimachi  
Tokyo 102-0083  
Tel: +81 3 3262 7621  
Fax +81 2 3261 4239  
Web: [www.idaireland.jp](http://www.idaireland.jp)

アイルランド政府産業開発庁  
〒102-0083  
東京都千代田区麹町2-10-7  
アイルランドハウス2F  
Tel: (03) 3262 7621  
Fax: (03) 3261 4239  
Web: [www.idaireland.jp/](http://www.idaireland.jp/)



アイルランド政府産業開発庁 IDA Ireland は、アイルランドの経済振興と直接投資促進を目的に設立された政府機関です。ヨーロッパへの進出を検討されている日本企業の皆様に、立地や人材、税制、優遇措置など各種最新情報を提供し、現地への視察のお手伝い、進出計画の立案から進出後のサポートまで幅広い支援を提供しております。